



地域がん診療連携拠点病院・基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院・地域医療支援病院・災害拠点病院・熊本DMAT指定病院・救急指定病院

理念 140年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

基本方針

患者中心医療

患者の人權と意思を尊重します

患者診療3本柱

がん・救急・予防医療を中心に
医療機能の充実を図ります

完結型医療

地域の医療機関との連携を行い
安心できる医療の展開を行います

社会貢献

災害医療派遣・医療情報公開・医療
ボランティアの活動を行います

医療人育成

医療に携わる喜びが持てる医療人の
育成を行います

在宅医療サポート

【第7回 地域医療サポーター養成講座開催！】

当院では在宅医療サポートの一環として地域住民の方にもっと医療についての知識など深めていただこうと地域医療サポーターの養成を行っています。

7月24日に第7回となる地域医療サポーター養成講座を開催しました。

地域医療サポーターとは「地域住民の皆様が安心して医療を受けられるように、病気の予防のための知識を習得し、それらを地域へ発信していく役割を担う方」のことです。

病気に関することや、予防医療に関すること、社会保障制度などについて講座を2ヶ月に1回開催しています。

今回は、臨床検査技師の杉本氏より「臨床検査技師の業務について」と題し、検査の種類や健診結果、病院の中の臨床検査技師の役割についてなどわかりやすく説明していただきました。

次回は9月25日（水）にリハビリテーションセンタースタッフより「介護予防の為のからだづくり」についての講座を予定しております。

申込み・問合せ等は医療福祉連携室（下記）までお願いします。



<地域医療サポーターへの登録方法>

登録ご希望の方は、所定の申請書に必要事項を記載の上、お申込みをお願いいたします。登録をされた方には、後日、登録されたご住所に会員証や講座案内を郵送させていただきます。講座は自由参加になりますので、ご興味がある講座をお申込みの上、受講ください。

<お問い合わせ先>

事務局 JCHO 人吉医療センター 医療福祉連携室
TEL (0966) 22-2191 FAX (0966) 22-7879

【初★ゴールド会員誕生!!】

現在、地域医療サポーターとして26名登録されています。この講座では受講回数に応じて会員証（ブロンズ→ゴールド→プラチナ）を発行しています。今回、服部様と佐々木様の2名が初めてゴールド会員となられましたので、木村院長より認定証の授与を行いました。お二人は当院のボランティアとしても大変ご尽力いただいております。今後ますます地域住民のサポーターとしてご活躍されることを期待しております。



～ゴールド会員の声～

退職してから“自分に何かできることはないか”と思っていた時にボランティアの募集を見つけたことがきっかけで医療センターでのボランティアを始めました。常にどこかで役に立つことはできないかと思いながら取り組んでいます。今回サポーター養成講座にはもっと勉強したいと思っていたのでとてもいいきっかけとなりました。

服部 則子さん

入院をした時に経験したトラブルがきっかけで、“患者さんとスタッフとの間に入り何か出来ることはないか”思ったことがきっかけでボランティアを始めました。まだまだやる気があるうちは頑張りたいと思っています。今後も頑張らず、地域の方に寄り添うことができるサポーターを目指していきたいと思っています。

佐々木 久美子さん

医療福祉連携室 小田 薫子

乳がん看護認定看護師誕生！

当院では現在14名の各分野の認定看護師が活躍しております。今回、2人目の乳がん看護認定看護師が誕生しましたので紹介します。

約7か月間の認定看護師教育課程を修了し、認定審査を受け、この度乳がん看護認定看護師の資格を取得しました。

まず、がんの臨床・研究・教育を担うがん専門病院の教育課程で、自分自身と向き合い、専門性の高い知識と看護技術を取得する大変貴重な時間をいただけたことに

感謝いたします。

今後はこの学びを礎に認定看護師として乳がんによってもたらされたさまざまな限界の中から、その人らしさを回復していく過程に寄り添い、患者と家族のQOL向上に向けて質の高い看護が提供できるよう努めたいと思います。

困ったことがあればお気軽にご相談ください。どうぞ宜しくお願い致します。



乳がん看護認定看護師
尾方 希久子

第2回 4R メディカルラリー in 済生会熊本病院

令和元年7月20日(土)、済生会熊本病院にて第2回4R メディカルラリーが開催され、当院もチーム『MOJOKA』を結成(当院医師2名・看護師2名、人吉下球磨消防組合救急救命士2名)し出場しました。今回は九州・沖縄各地より計8チームの参加がありました。

メディカルラリーとは、救急医療の判断や技術を競うコンテストのことで、各地で開催されている競技大会です。競技内容としては、日常的に遭遇する急病などの一般事案から集団災害など、遭遇頻度の低い特殊な事案まで仮想事案に基づき、設定した模擬の救急現場を救急医療に携わる医師や看護師、救急救命士などがチームを作り、ラリー形式で各stationを巡り、その評価を競う競技大会のことです。

私たちは約2ヶ月前からチーム編成をし、準備や訓練を行ってきましたが、競技本番まで1回もメンバー全員が揃って訓練することが出来ず、不安を抱えたまま本番を迎えました。本番は全部で4station(うち、1stationはservice station)あり、コンサート会場での爆発による多重傷病事案、自宅で意識のない傷病事案、乗用車とバイクによる交通外傷事案がありました。それぞれ緊迫する状況の中、チームメンバーは今まで訓練してきたことを精一杯発揮していました。

結果としては8チーム中6位でしたが、出場したことで自分自身たくさんの課題に気付く、今後に活かせるいい経験ができたと思っています。

今後も球磨人吉地域の医療の質向上を目指し、地域貢献ができるように研鑽を積んでいきたいと思っています。

救急センター 橋本 奈央



今回、人吉医療センターと人吉下球磨消防組合の合同チームとして参加しました。

メンバー全員がラリー初参加という中で、訓練を始める段階では連携がうまくとれず誰が何の役割を担うのか、戸惑いと不安もありました。しかし、訓練を重ねていくごとにそれぞれの役割を明確にして活動方針の共有・連携を強化することができました。想定については、多数傷病者や内因性疾患への対応で、限られた時間のなかで「指揮・連携・安全・確実・迅速」について評価されるものでした。これまで訓練した成果もあり、「救命」という一つの目標に向けメンバー全員が心を一つにして柔軟に対応することができました。

このラリーを通して、今まで関わり合うことが少なかった院内スタッフの方々と相互理解を深めることができ、改めて医療機関と消防機関の連携は必要不可欠であると実感しました。今後も人吉・球磨地域の救急医療の質の向上を目指し、人吉医療センターと良好な関係を構築していければと思います。

今回、応援・協力を頂いた人吉医療センタースタッフの皆様に感謝申し上げます。

人吉下球磨消防組合 救急救命士 岩本 正弘



縫 合 勉 強 会

私たち研修医は7月23日に縫合勉強会に参加させていただきました。

縫合勉強会では縫合と糸結びについて、講義と実際のキットを使って実習を行いました。

講義では、今まで漫然としか知らなかった各縫合糸の特徴や縫合方法の強度の違いなどについて学ぶことができました。



実習では当院の外科や整形外科、脳神経外科の先生方から、埋没縫合をはじめ様々な縫合方法を教えていただ

きました。実際に手術の際でのコツなども目の前で見ていただきながら教わることができ、普段疑問に思ったり難しく思っていた手技も少し上達することができました。



医師として基礎的であり大切な手技を一からきちんと学びなおすことができ、大変勉強になりました。ご指導くださった先生方、ありがとうございました。

臨床研修医 筑地 翔一郎

ひまわり会開催



8月8日ひまわり会（乳がん患者会）でヨガをおこないました。

今回、患者さんには、動きやすい服装で参加してもらい、ヨガマットを敷いた床の上にあぐらをかいた姿勢から患者会は開始されました。ヒーリングミュージックに合わせ、ゆっくりと深呼吸をしながら身体の筋肉をほぐすように、リラックスをしながら身体を動かしました。

ヨガはアメリカをはじめとした海外においても、医学的にも健康維持、増進、改善のための補完代替医療として研究、活用されており、日本でも患者さんのQOLを高める手段として取り入れている医療機関があります。

今回の患者会の講師は、外科外来の医療クラーク佐田 雅さんをお願いしましたが、講師の佐田先生は、さすがにどのヨガのポーズをとっ

ても、美しく決まっておられました。先生のお手本をみると簡単そうに見えるのですが、慣れない動きに皆さん苦戦されておられました。

ゆっくりとした動きでしたが、普段することのない腰のひねりや、手足の動きに皆さん軽く汗をかき、「いい運動になった」、「久しぶりにいい汗をかいた」、「リラックスできた」などの感想をいただきました。

患者会でのヨガは初めての試みでしたが、患者さんのQOLを高める有効な手段として来年度のひまわり会でも予定したいと思います。

次の患者会は乳がん看護認定看護師による「日常生活の注意事項」をテーマに10月10日開催を予定しています。ぜひ、ご出席ください。

医療福祉連携室 岡本 理恵

かかりつけ医をもちましょう ～登録医パンフレット設置～

当院正面玄関付近に登録医パンフレットを設置しました。（※パンフレット設置を希望された医療機関のみになります。）

当院では、地域医療支援病院として地域の医療機関の先生方とより一層の連携を図りながら、地域の中核病院としての機能を十分に果たし、地域に良質な医療を提供する体制を整備するために、かかりつけ医制度を実施しております。

登録医とは、患者の皆様の病状にあった継続性のある医療を切れ目なく行うため、当院と連携している地域の医療機関の先生方（かかりつけ医）のことです。

地域医療機関の先生が方より紹介された患者さんの受け入れをはじめ、当院で治療中の患者さんのうち、状態が安定している患者さんの逆紹介を積極的に行っていき、地域完結型医療として先生方との連携を強化しております。

是非、患者さんにこのパンフレットを手にとってもらい、かかりつけ医を探す等の際の一つのツールとして、

活用いただきたいと思います。また、さらに詳しい情報を知りたい際や紹介・逆紹介のご相談の際は、担当医及び医療ソーシャルワーカーへご相談下さい。



最後に、今回の作成にあたり、ご協力いただきました登録医の先生方には、この場を借りてお礼申し上げます。また、パンフレットの内容の変更追加ならびに登録医パンフレットご希望の先生方がおられましたら、医療福祉連携室へご連絡下さい。

今後も、地域に密着した医療連携を図るとともに、地域の情報を発信していきたいと思ひます。

医療福祉連携室 田頭 隼人

職場体験感想

毎年、当院では人吉球磨地域の小中高生の職場体験を受け入れています。今回のインターンシップに参加した人吉高校・南稜高校の生徒さんから、感想を頂きましたのでご紹介させていただきます。

【人吉高校】

今日は、様々な部署の見学や説明を聞く事ができてとても良い経験になりました。名前は知っていたけど何をしているか具体的に分からなかった仕事についても前より詳しく知る事ができました。私は放射線技師になりたいと思っていたけど、このインターンシップに参加してなりたい気持ちが強くなりました。X線の機械を少し触らせてもらうこともできて楽しかったし、将来、私もこの機械を使いこなせるようになっていきたいと思いました。

今日は、看護について沢山の貴重な体験をさせていただきありがとうございました。1日を通して「看護」と言っても様々な種類のものがあることを知れました。私は5階西病棟で2時間程、見学させてもらったのですが、看護師さん達が一人一人にしっかりと声を掛けながらコミュニケーションをとっていらっしゃる姿がとてもすごいと思いました。まだ自分の将来について定まっていなかったので今回の事を参考にさせていただきます。



今回のインターンシップを通して、以前にもまして看護師になりたいと思うようになりました。午前中、7階の病棟で看護師さんたちがテキパキ働く姿を見て、患者さんとも仲良く看護師同士もとても仲良くしてすごいと思いました。僕は、看護師を目指したのが最近なので、他の人より分からないことが多かったですが、インターンシップ担当の方や医療関係の方が詳しく教えてくださり多くの事を学べました。ありがと

うございました。

今日のインターンシップで自分の興味のあるリハビリや知らなかった臨床検査部などたくさんの部署を見ることができて多くのことを知ることができました。臨床工学部では見たことのある機械だったけど患者さんに合わせて調節することは初めて知りました。画像診断センターでは機械を使わせてもらったり、リハビリでは中の様子や内容も聞くことができて貴重な体験もすることができました。将来について考えることができました。



【南稜高校】

今回、人吉医療センターで臨床心理士のことや社会福祉士のことを学べてよかったと思っています。患者さんと接する時には、目線を同じ位置にしたり、ゆっくりハッキリ話しかけていたりして、工夫がされているなと思いました。また、事務的なことも多くとても忙しそうだなと思いました。ソーシャルワーカーの仕事は、相談にのったり、退院後の援助など、たくさん人に頼られ、大変だと思うけどやりがいのある仕事なんだなと思いました。医療センターのインターンシップで、たくさんのことを学べてよかったです。学んだことを将来に繋げていけるように、これからも頑張っていこうと思います。



ボランティアスクール開催

8月8・9日 当院で行われたボランティアスクールに人吉一中の生徒さんが参加されました。感想を頂きましたのでご紹介させていただきます。

私はこの2日間とても楽しく、色々な体験をすることができました。ボランティアだったので患者さんと接することはあまりなかったけど、患者さんや病院のために車椅子をきれいにしたり術衣を畳んだりなど、様々な普段では出来ないようなこと

をたくさんさせて頂いて、こういう仕事があるからたくさんの患者さんを助けたり笑顔にできるんだな。と感じました。とても学ぶことの多い2日間でした。ありがとうございました。

人吉市立第一中学校 2年

1日看護体験感想

私は今回の高校生の1日看護体験で、看護師の様々な仕事を体験させていただき多くのことを学ぶ事ができました。私がさせてもらった仕事は、血圧測定、脈測定、車椅子、ストレッチャー体験などでした。

様々な体験をする中で、私が感じたことは、患者さんを第一に考えることの大切さです。患者さんの中でも寝たきりの人だったり、お話しできる人、色々な症状の患者さんがいる中で、患者を第一に考えることで信頼関係も築けると感じました。人と人が接する看護師という仕事は思いやりの心を持ち、患者さんと看護師さんとの距離が大事なのだと考えさせられました。

また、看護師さん同士の仲が良く、互いに助け合ったり、笑



顔が溢れていて、まるで家族のように思えました。私はまだ将来の夢が決まってないですが「人の役に立ちたい」仕事につきたい気持ちは常に持っているの、とても将来を考えられるいい経験でした。

今回の体験で人の命に関わる仕事であり、やりがいも感じられ、看護師さんはとても素晴らしく強いと感じました。

人吉高校 2年

クリニカルクラークシップ（消化器外科）

今回、消化器外科におけるクリニカルクラークシップの学外実習として、人吉医療センターの外科にて1週間の臨床実習を経験させて頂きました。消化器外科の学外実習としては市内の病院や他の市外の病院、県外の病院合わせて10個ほどありますが、事前に友人達から人吉医療センターの外科は症例数が豊富でかつ、先進的な技術、充実した設備により多くの経験ができ、将来外科を志望する私としては最適な学外実習先だと考え、選択させて頂きました。

1週間の間で初日から最終日まで、手術や術後のケア、術前の手術説明などを経験させて頂き、合計して約10件の手術を経験させて頂きました。その手術は急性期疾患に対する緊急手術に始まり、悪性腫瘍に対する高度な切除術、リンパ節郭清な

ど多岐に渡り、大学病院などの設備が整っている病院にも引けを取らないような印象を受けました。また、手術の際には学生の身分ながら手術のお手伝いを経験させて頂き、個人として大きく成長することができました。

初めての人吉ということで、慣れない環境の中で不安なところもありましたが、外科の先生方やメディカルスタッフの方には1週間の間に何度も声をかけてくださり、分からない点には優しく解説してくださったり、心優しい方ばかりですぐに溶け込むことができました。今回の1週間では外科的知識を得るだけでなく、人吉の良さを多く知ることができ、地域医療の良さも同時に知ることができました。この学びを糧にこれからも学習を続けて参りたいと思います。この度は誠に有り難うございました。

熊本大学医学部医学科6年 松本 洋典

第21回 日本医療マネジメント学会学術総会

今回、名古屋国際会議場で開催された、第21回日本医療マネジメント学会学術総会に参加してきました。学会のメインテーマが「私たちの働き方改革～良質で成熟した日本の医療をめざして～」ということで、私は「当院における医療機器管理における現状と問題点」で演題発表しました。聞いていただいた参加者に、医療機器管理における臨床工学技士の役割の重要性を伝えることができ、座長の方からも多くの機器を臨床工学技士が対応していることについて共感していただきました。同じ臨床工学技士の方が発表された医療機器や人材育成等についての演題を拝聴し、勉強になったとともに、良い刺激になりました。



学会発表を経て、今後も医療機器管理業務における取扱い不良機器の対策に、より一層取り組んでいきたいと気持ちを新たにしました。

臨床工学技士 内布 陽平

連携施設 探訪

当院は、みなさんが住み慣れた地域で安心して生活していただけるよう、人吉・球磨地域の医療・福祉機関と連携して 地域包括ケアを推進していきたいと考えています。そこで、地域の社会資源を周知していただくため、連携施設をご紹介します。

今回は「特別養護老人ホーム にしき園」さんです。

特別養護老人ホーム にしき園 Vol.30

【施設の特徴・理念】

地域の皆様に「信頼」される質の高いサービス、利用者の皆様に「尊敬」し安全で優しい介護サービスを提供します。常に介護・看護の知識の習得と技術の「向上」に努めています。

【対象者】

入居サービス：要介護3～5

在宅サービス：要支援1～要介護5

【サービスの内容】

・特別養護老人ホーム

家庭に代わる生活の場として介護計画に基づき、利用者の意思及び人格を尊重した明るく楽しい生活が出来るように、真心のサービス提供をさせていただきます。

・併設のサービス（短期入所生活介護事業・通所介護事業・居宅介護支援事業・介護予防事業）

【地域の皆様に一言】

開設して29年目を迎えようとしております。これもひとえに地域の皆様のお蔭と認識し、今後も家庭に代わる生活の場として、



利用者様の意思及び人格を尊重した明るく楽しい生活ができるように、真心のサービスを提供させていただきます。

地域の皆様、夏祭りや地域サロンへの出前講座等行っておりますので、是非ご参加くださいませ。

【お問い合わせ】

にしき園 生活相談員 赤池 範泰

TEL 0966-38-3800 FAX 0966-38-3766

【訪問者の感想】

にしき園は、全室多床室（2-4名部屋）で、入所にかかる料金も低料金となっており、経済的な負担も少なくなっています。突然の来訪にも関わらず、施設職員の皆様がすれ違うたびに気持ち良い挨拶をされており、接遇の面でも、素晴らしいと感じました。

働くオトナの昼ご飯

ある方から施設係の中神さんのお弁当は興味深いよ！と情報が入り撮影を申し出たところ快く引き受けてくださいました。人物紹介も兼ねて紹介させていただきます。

今回は本年5月に経理課技能員として入職された中神寿一さんです。

お弁当メニューは①玄米、豆腐ハンバーグ、もずく・オクラの和え物、ふかしたサツマイモ、トマト、味噌汁、そしてグラノーラバーのデザート付き②玄米、春雨の味噌汁、トマト・ブルーベリー、もずく酢でした。すべて奥様の手作りです。結婚を機に奥様と同じものを食べ数年で30kg程減量され（当時100kg超えていたそう。）健康的な体型を維持されています。

みなさんは“ヴィーガン”という言葉をご存じですか？ベジタリアンという食文化は耳にしますが、さらに乳製品と卵を含めた動物性食品を一切口にしない食の選択だそうです。実は中神さんの奥様はヴィーガン食を選択されていたらしいです。中神さんは厳格なベジタリアンではないそうですが、奥様に合わせ

～サラメシ～ HMC ver.2

たライフスタイルで結婚前の自身と比べると身も心も軽くなり前向き思考になられたとのこと。お米は自家精米、野菜は地元産の旬の物、たんぱく源は豆製品、砂糖の変わりとしてドライフルーツやてんさい糖等を使用されているようです。今回、デザートで持参されていたグラノーラバーをごちそうになりましたが大満足のおいしさでした。

中神さんは、球磨神楽や獅子舞、人力車引き、そして現在大学で学ばれている史学を生かした観光案内等、多趣味でとても気さくな方です。ごちそうさまでした。



①



②

ラフティング部

7月27日、女性も一緒に参加することが多いという当院のラフティング体験。今回は男性だけの体験となり、時間通りに7人は集まりました。

漕ぎ方を学び、ボートへと乗り込み本格的な急流に飲み込まれるエリアへと突入しました。ものすごい流れの強さ、大きく上下に揺れるボート、これからどんな冒険が始まるのだろうと思っていたのもつかの間、最初の急流でバンッ！と大きな音をたて、水がボート内へと入ってきました。筑地先生は自分が座る部分の空気が無くなり全く座れない状態になったにも関わらず、ボートにしがみつきのながらずっと笑っぱなしでした。



パンクにより途中で中止になりましたが、ラフティング後に温泉に行くことは決まっていたにも関わらず手ぶらで来た石内先生の話など、頼まれた原稿の文字数400字ではとても言い表せないほど楽しいハプニング続きの体験ができ、とてもいい思い出ができました。機会があればまた参加したいと思います。

協力型臨床研修医 森 遼介

新 任 紹 介



しらい たかひろ
白石 貴大（協力型臨床研修医）

最終卒業校：名古屋大学

趣味：ドライブ

モットー：いばるな、おこるな、はやまるな

自分の性格：忘れっぽいところ

自分のコマーシャル：日赤から1ヶ月研修でお世話になります。

精一杯働いた上で、人吉を精一杯楽しみたいと思っています。

よろしくお願いします。

第10回 人吉球磨フットサル選手権



6/10、7/28に第10回人吉球磨フットサル選手権 フレンドリー部が人吉カルチャーパレスで開催され、当院のフットサル部も参加しました。この大会は、例年参加をさせていただいている大会で、人吉球磨の全14チームで予選リーグ、決勝リーグ・トーナメントを争いました。今回、循環器内科六反田先生や脳神経外科田嶋先生、臨床検査技師木村さんらの新たなメンバーの参加があり、フレッシュなチームで挑みました。予選リーグは研修医耕先生のゴールなどの活躍があり、2勝2敗で決勝リーグへ進出しました。決勝リーグ・トーナメントでは勤務等で欠場する方がいましたが、残りメンバーで力を合わせ1勝2敗1分の結果を収めることができました。フレンドリーの主旨であるフットサルを楽しむことができたのではないかと思います。今回は良い結果が残せるよう頑張りたいと思います。

今回、応援に来ていただいた皆様、大変ありがとうございました。後日の筋肉痛との負けられない戦いにも耐えていきたいと思っています。

医療福祉連携室 田頭 隼人

8月の勉強会報告

8月29日緩和ケア研修会特別講演会

「オピオイド鎮痛薬の使い分け～ヒドロモルフォン製剤の位置づけ～」

熊本大学 緩和ケアセンター専任 特任助教

鳥崎 哲平先生

